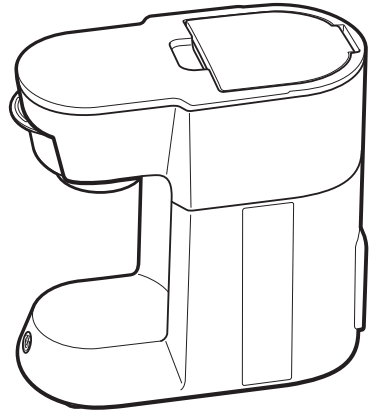


Makita

ヒューマンハードウェアのマキタ
人の暮らしとすまいのために……

取扱説明書

充電式 コーヒーマーカー モデル CM500D



本機はシングル絶縁構造ですので必ず接地（アース）してください。マキタ製品は電気用品安全法に基づく技術上の基準に適合、または準じて（電気用品安全法適用外の製品）製造されております。

このたびは充電式コーヒーマーカーをお買い上げ賜わり厚くお礼申し上げます。ご使用に先立ち、この取扱説明書をよくお読みいただき本機の性能を十分ご理解の上で、適切な取り扱いと保守をしていただいて、いつまでも安全に能率よくお使いいくださるようお願いいたします。なお、この取扱説明書はお手元に大切に保管してください。



目次




| | |
|---------------------------|----|
| ・ 主要機能 | 3 |
| ・ 安全上のご注意 | 4 |
| ・ 充電式コーヒーマーカー安全上のご注意 | 8 |
| ・ 各部の名称 | 10 |
| ・ 別販売品のご紹介 | 11 |
| ・ 使い方 | 12 |
| ・ 100 V 電源を使う | 12 |
| ・ バッテリーを使う（バッテリーホルダを接続する） | 13 |
| ・ バッテリー（別販売品）の取り付け・取りはずし方 | 14 |
| ・ バッテリー保護機能 | 14 |
| ・ バッテリー（別販売品）を長持ちさせるには | 15 |
| ・ バッテリーの回収について | 15 |
| ・ ドリップの方法 | 16 |
| ・ 保守・点検について | 18 |
| ・ 本機のお手入れ | 18 |
| ・ 保管について | 18 |
| ・ ご修理の際は | 18 |
| ・ 保証書 | 20 |

主要機能

| 主要機能 | モデル | CM500D |
|-----------------------|-----|------------------------------|
| 交流電圧 | | 単相交流 100 V |
| 消費電力 | | 500 W |
| バッテリー | | リチウムイオンバッテリー |
| | | BL1830/BL1840/BL1850/BL1860B |
| バッテリー電圧 | | 18 V |
| 水タンク容量 | | 150 ml |
| 本機寸法 (長さ × 幅 × 高さ) | | 222 mm × 115 mm × 214 mm |
| 本機質量 (バッテリー除く) | | 0.9 kg |

- ・ 改良のため、主要機能および形状などは変更する場合がありますので、ご了承ください。

注意文の  **警告** ・  **注意** ・  **注** の意味について


ご使用上の注意事項は  **警告** と  **注意** ・  **注** に区分していますが、それぞれ次の意味を表します。

 **警告**

: 誤った取り扱いをしたときに、使用者が死亡または重傷を負う可能性が想定される内容のご注意。

 **注意**

: 誤った取り扱いをしたときに、使用者が傷害を負う可能性が想定される内容および物的損害のみの発生が想定される内容のご注意。

なお  **注意** に記載した事項でも、状況によっては重大な結果に結びつく可能性があります。いずれも安全に関する重要な内容を記載していますので、必ず守ってください。

 **注**

: 製品および付属品の取り扱いなどに関する重要なお注意。

⚠ 警告

- ご使用前に、「取扱説明書」と「安全上のご注意」すべてをよくお読みの上、正しく使用してください。
 - 感電、火災、重傷などの事故を未然に防ぐために、この「安全上のご注意」を必ず守ってください。
- a) 電気に関する安全事項
1. 電源コンセントは本機の電源プラグに合ったものを使用してください。また、電源プラグの改造をしないでください。接地付きプラグは確実にアースをしてください。
 - 改造していない電源プラグおよびそれに対応するコンセントを使用すれば、感電のリスクが低減されます。
 2. 電源コードを乱暴に扱わないでください。
 - 電源コードを持って本機を運んだり、引っ張ったりしないでください。また、電源プラグを抜くために電源コードを利用しないでください。
 - 電源コードを熱、油、角のある所、動くものに近づけないでください。電源コードが損傷したり、身体に絡まって感電する恐れがあります。
 3. 使用環境に適した延長コードを使用してください。
 4. 電源プラグを差し込む前に、本機のスイッチが切れていることを確認してください。
 - スwitchがオンの位置にあるときに電源プラグを差し込むと故障や事故につながります。
- b) バッテリーおよび充電器に関する安全事項
1. 電源コンセントは充電器の電源プラグに合ったものを使用してください。また、電源プラグの改造をしないでください。接地付きプラグは確実にアースをしてください。
 - 改造していない電源プラグおよびそれに対応するコンセントを使用すれば、感電のリスクが低減されます。
 2. 充電器は、雨ざらしにしたり、湿った、またはぬれた場所で使用したりしないでください。
 - 充電器内部に水が入り、感電やバッテリーが短絡する恐れがあります。
 3. 充電器の電源コードを乱暴に扱わないでください。
 - 充電器の電源コードを持って充電器を運んだり、引っ張ったりしないでください。また、電源プラグを抜くために電源コードを利用しないでください。
 - 充電器の電源コードを熱、油、角のある所、動くものに近づけないでください。電源コードが損傷したり、身体に絡まって感電する恐れがあります。
 4. 使用環境に適した延長コードを使用してください。
 5. ラッカー、ペイント、ペンジン、シンナー、ガソリン、ガス、接着剤などのある場所では充電しないでください。
 - 爆発や火災の恐れがあります。

⚠ 警告

6. 火災の恐れがあります。次のようなことをしないでください。
 - ・ ダンボールなどの紙類、座布団などの布類、畳、カーペット、ビニールなどの上では充電しないでください。
 - ・ 風窓のある充電器は、充電中に風窓をふさがないでください。また風窓に金属類、燃えやすいものを差し込まないでください。
 - ・ 綿ほこりなど、ほこりの多い場所で充電しないでください。
7. 充電器のバッテリー装着部には充電用端子があります。金属片・水などの異物を近づけないでください。
 - ・ そのまま充電を続けると発煙、発火、破裂の恐れがあります。
8. 充電器は充電以外の用途には使用しないでください。
 - ・ 充電中、発熱などの異常に気が付いたときは、直ちに電源プラグを抜いて充電を中止してください。そのまま充電を続けると発煙、発火、破裂の恐れがあります。
9. 正しく充電してください。
 - ・ 充電器は定格表示してある電源で使用してください。昇圧器などのトランス類を使用したり、直流電源やエンジン発電機では使用しないでください。（当社インバータ制御付エンジン発電機は除く。）異常に発熱し、火災の恐れがあります。
 - ・ 周囲温度が 10℃未満、または周囲温度が 40℃以上ではバッテリーを充電しないでください。破裂や火災の恐れがあります。
 - ・ バッテリーは、換気のよい場所で充電してください。バッテリーや充電器を充電中、布などで覆わないでください。破裂や火災の恐れがあります。
 - ・ 使用しない場合は、電源プラグを電源コンセントから抜いてください。破裂や火災の恐れがあります。
 - ・ 電源コードが踏まれたり、引っかけられたり、無理な力を受けて損傷することがないように場所で充電してください。発煙、発火、感電の恐れがあります。
10. バッテリーは専用充電器以外では充電しないでください。
 - ・ ほかのバッテリー用の充電器を流用すると、火災、発熱、破裂、液漏れの恐れがあります。
11. マキタが指定した専用バッテリー以外使わないでください。また、改造したバッテリー（分解してセルなどの内蔵部品を交換したバッテリーを含む）を使用しないでください。
 - ・ 本機の性能や安全性なども損なう恐れがあり、火災やけが、故障、破裂などの原因になります。
12. バッテリーの端子部を金属などで接触させないでください。
 - ・ バッテリーを金属と一緒に工具箱や釘袋などに保管しないでください。短絡して、発熱、発火、破裂の恐れがあります。
 - ・ 本機または充電器からはずした後は、バッテリーにバッテリーカバーを必ず取り付けてください。
13. 高温などの過酷な条件下ではバッテリーから液漏れすることがあります。漏れ出た液体に不用意に触れないでください。
 - ・ 万が一、バッテリーの液が目に入ったら、直ちにきれいな水で十分洗い医師の治療を受けてください。
 - ・ バッテリーの液は炎症ややけどの原因になることがあります。

⚠ 警告

14. 使用時間が極端に短くなったバッテリーは使用しないでください。
15. 落としたり、何らかの損傷を受けたバッテリーは使用しないでください。
16. ご使用済みのバッテリーは一般家庭ゴミとして棄てないでください。
 - ・ 棄てられたバッテリーがゴミ収集車内などで破壊されて短絡し、発火・発煙の原因になる恐れがあります。
17. バッテリーは火への投入、加熱をしないでください。
 - ・ 発火、破裂の恐れがあります。
18. バッテリーに釘を刺したり、衝撃を与えたり、分解・改造をしないでください。
 - ・ 発熱、発火、破裂の恐れがあります。
19. バッテリーを火のそばや炎天下など高温の場所で充電・使用・保管しないでください。
 - ・ バッテリーを周囲温度が 50 °C 以上に上がる可能性のある場所（金属の箱や夏の車内など）に保管しないでください。バッテリー劣化の原因になり、発煙、発火の恐れがあります。

その他の安全事項

1. 損傷した部品がないか点検してください。
 - ・ 使用前に、保護カバーやその他の部品に損傷がないか十分点検し、正常に作動するか、また所定機能を発揮するか確認してください。異常がある場合は、使用する前に修理を行ってください。
 - ・ 破損した保護カバー、その他の部品交換や修理は、取扱説明書に従ってください。取扱説明書に記載されていない場合は、お買い上げの販売店、または当社営業所に修理をお申し付けください。スイッチが故障した場合は、お買い上げの販売店、または当社営業所に修理をお申し付けください。
 - ・ 異常・故障時には、直ちに使用を中止してください。そのまま、使用すると発煙・発火、感電、けがに至る恐れがあります。
 - <異常・故障例>
 - ・ 電源コードや電源プラグが異常に熱い。
 - ・ 電源コードに深いキズや変形がある。
 - ・ 電源コードを動かすと、通電したりしなかったりする。
 - ・ 焦げくさい臭いがする。
 - ・ ビリビリと電気を感じる。
 - ・ スイッチを入れても動かないなど不具合を感じた場合は、すぐにバッテリーおよび電源プラグを抜いてお買い上げの販売店、または当社営業所へ点検、修理をお申し付けください。
2. 正しい付属品やアタッチメントを使用してください。
 - ・ この取扱説明書および当社カタログに記載されている付属品やアタッチメント以外のものを使用すると、事故やけがの原因となる恐れがあるので使用しないでください。
3. ぬれた手で電源プラグに触れないでください。
 - ・ 感電の恐れがあります。

⚠ 警告

4. バッテリーは、電力量が 100 Wh を超える場合、危険物に分類されます。

- 輸送の際は、輸送会社にお問い合わせの上、指示に従ってください。
- 電力量は、バッテリー裏側の注意ラベルに記載されています。(右図の○部分)



5. ご使用にならないときは、スイッチを切り必ず電源プラグを電源コンセントから抜き、バッテリーを本機から取りはずしてください。

6. 本機に落下などの強い衝撃を与えないでください。

7. 電源を入れたまま、布やダンボールなどをかぶせないでください。

- 発火の恐れがあります。

8. 修理は、専門店にお申し付けください。

- 本機、充電器、バッテリーを分解、修理、改造は行わないでください。発火したり、異常動作して、けがをする恐れがあります。
- 本機が熱くなったり、異常に気付いたときは点検修理に出してください。
- 修理は、必ずお買い上げの販売店または当社営業所にお申し付けください。修理の知識や技術のない方が修理しますと、十分な性能を発揮しないだけでなく、事故やけがの恐れがあります。

9. 注意深く手入れをしてください。

- 電源コード、充電器のコードは定期的に点検し、損傷している場合は、お買い上げの販売店、または当社営業所に修理をお申し付けください。感電や短絡して発火する恐れがあります。
- 延長コードを使用する場合は、定期的に点検し、損傷している場合には交換してください。感電や短絡して発火する恐れがあります。

注

- 電源が離れていて、延長コードが必要なときは、本機、充電器を最高の効率で支障なくご使用していただくために十分な太さのコードをできるだけ短くお使いください。

本機に使用できる延長コードの太さ（公称断面積）と最大長さの目安

| | |
|---------------------|-----------|
| コードの太さ（導体公称断面積） | コードの長さの目安 |
| 2.0 mm ² | 50 m |

- 延長コードは本機のコードと同じような被ふくを施したコードを使用してください。充電器に使用できる延長コードの太さ（公称断面積）と最大長さの目安

| | |
|---------------------|-----------|
| コードの太さ（導体公称断面積） | コードの長さの目安 |
| 2.0 mm ² | 30 m |

充電式コーヒーマーカー安全上のご注意

先に充電式製品として共通の注意事項を述べましたが、コーヒーマーカーとして、さらに次の注意事項を守ってください。

JPB233-1

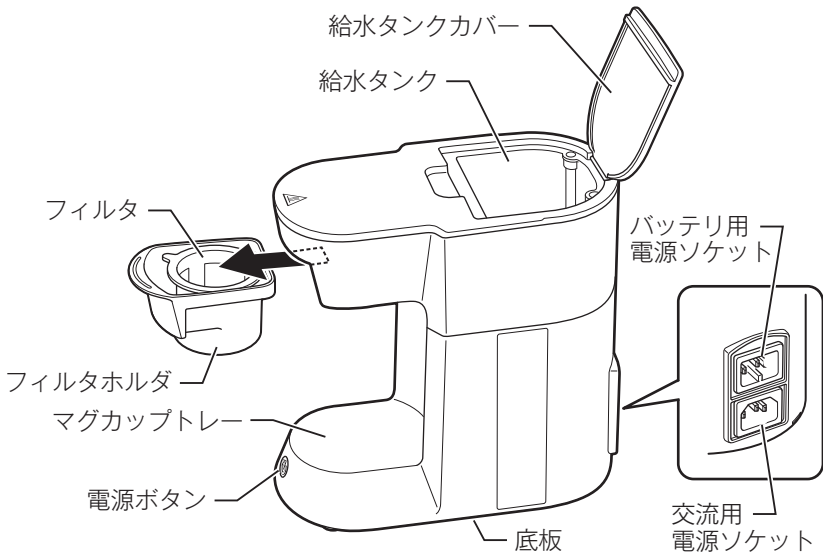
⚠ 警告

1. 本機は、安全に使用するための監督や指導の下、使用に際し危険が伴うことを理解する限り、8歳以上の小児が使用できますが、お手入れおよび保守はできません。本機および本機のコードは8歳未満の小児の手の届かないところに保管してください。
2. 本機は、安全に使用するための監督や指導の下、使用に際し危険が伴うことを理解する限り、身体的・精神的・感覚的な障害をお持ちの方、経験や知識がない方が使用できます。
3. 子供だけで使わせたり、幼児の手の届くところで使用しないでください。
4. 本機は家庭用およびそれに順ずる以下の用途で使用することを目的としています。
 - ・ 店舗・事務所などの事業所の従業員が使用するキッチンスペースにおける使用
 - ・ 農家における使用
 - ・ ホテルなど居住環境における宿泊者による使用上記以外の用途では使用できません。
5. 使用上の指示はすべてお読みください。
6. 本機は使用中に表面が熱くなるので、熱くなった部分に触れないでください。
7. 火災や感電を避けるため、コードやプラグ、本機を水などの液体に浸さないでください。
8. 使用しないときやお手入れの際にはコンセントから抜いてください。本機が冷めるのを待って部品の着脱やお手入れをしてください。
9. 故障後コードやプラグが破損した状態、あるいは何らかの故障がある状態で本機を使用しないでください。検査や修理、調整の際は、指定のサービス施設に本機をお戻しください。
10. メーカー推奨品以外の別販売品を使用すると火災や感電、けがを引き起こす恐れがあります。
11. コードはテーブルやカウンターの縁に掛けたり、熱した表面に接触させないでください。
12. ガスまたは電熱レンジ、あるいは熱したオーブンの近くに置かないでください。
13. 電源コードは必ず最初に本機、続いてコンセントの順に接続してください。抜く際には、電源ボタンを切ってからコンセントから抜いてください。

⚠ 警告

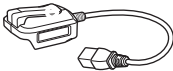
14. 意図された以外の用途では使用できません。
15. ドリップ中に給水タンクカバーを開けないでください。
16. ドリップ中にフィルタホルダを取りはずすとやけどをする恐れがあります。
17. 本機は固い水平な平面に設置し、本機底部下の風通しを妨げないようにしてください。
18. 本機を洗うときは水の中に浸さないでください。
19. 火災や感電を避けるため、底板は取りはずさないでください。内部にユーザーが修理可能な部品はありません。修理は、必ずお買い上げの販売店または当社営業所にお申し付けください。

各部の名称

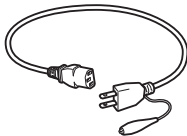


標準付属品

- ・ バッテリホルダ



- ・ 電源コード



- ・ 計量スプーン（すり切り一杯：6.5 g）



別販売品のご紹介

- ・ 別販売品の詳細につきましてはカタログを参照していただくか、お買い上げ販売店、または当社営業所へお問い合わせください。
- ・ バッテリーBL1830(容量3.0 Ah)
部品番号 A-47896
- ・ バッテリーBL1840(容量4.0 Ah)
部品番号 A-56596
- ・ バッテリー BL1850(容量5.0 Ah)
部品番号 A-57196
- ・ バッテリーBL1860B(容量6.0 Ah)
部品番号 A-60464

使い方

⚠ 注意

本機を初めて、または長期保管した後に使用する場合は次の作業を行ってください。

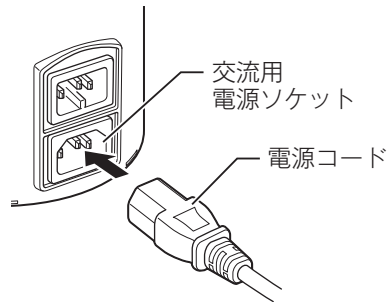
- ・ すべての梱包材を本機から取りはずしてください。
- ・ 本機の外装、フィルタ、およびフィルタホルダを清掃してください。（本機のお手入れ 18ページ参照）
- ・ 水を給水タンクに150 ml入れ（ドリップの方法 16ページ参照）、挽いたコーヒー豆をフィルタに入れずに、水がなくなるまでドリップすることで本機内を清掃します。少なくとも2週間に1回この作業を行います。

本機は、家庭用の 100 V 電源と 18 V のバッテリーを使用することができます。

注) バッテリーの充電機能はありません。

100 V 電源を使う

- ・ 電源コードを交流用電源ソケットに差し込んだ後、電源コンセントに接続します。



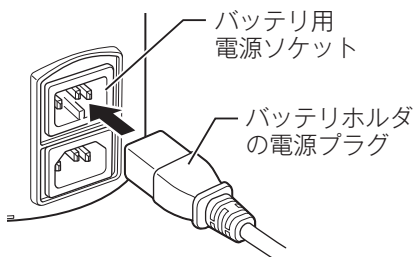
注

- ・ 付属の電源コードは、本製品のみでご使用ください。

使い方

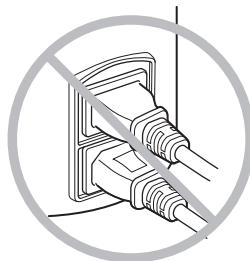
バッテリーを使う（バッテリーホルダを接続する）

- ・ バッテリーホルダの電源プラグをバッテリー用電源ソケットに差し込みます。



注

- ・ 電源コードとバッテリーホルダを同時に本機の電源ソケットに差し込まないでください。



- ・ 絡まりやつまづきを避けるために、短い電源コードが付属されています。100 V 電源使用時に、長い電源コードや延長コードを使用する場合は、下記の項目に注意してください。
 - ・ 絡まったり、つまづいたりしないように注意してください。
 - ・ 少なくとも本機の定格電圧・電流以上の表示がある電源コードや延長コードを使用してください。
 - ・ アースのついた3線コードだけを使用してください。
 - ・ 長いコードを使用する場合、子供が引っ張ったり、つまづいたりしないように、カウンターやテーブルの上から垂らさないようにしてください。

使い方

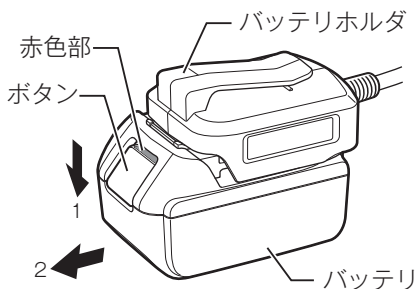
バッテリー（別販売品）の取り付け・取りはずし方

⚠ 警告

バッテリーは確実に差し込んでください。ボタン上部の赤色部が見えている場合は完全にロックされていません。赤色部が見えなくなるまでしっかり差し込んでください。

- ・ 差し込みが不十分ですと、はずれて事故の原因になります。

- ・ バッテリーをバッテリーホルダから取りはずすときは、
 1. バッテリー正面のボタンを引き下げながら
 2. スライドさせると取りはずせます。
- ・ 取り付けるときは逆の要領で、バッテリーホルダの溝に合わせ、奥まで挿入してください。この際、ボタン上部の赤色部が見えている場合は完全にロックされていません。赤色部が見えなくなるまで、奥まで確実に挿入してください。



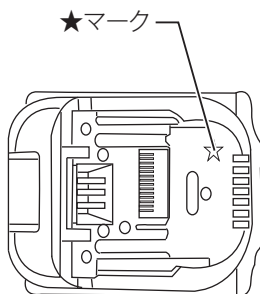
バッテリー保護機能

（★マーク付きバッテリーを使用する場合）

バッテリー寿命を長くする目的で出力を自動停止する保護機能がついています。

本機を使用中、下記状態になりますと自動停止しますが、これはバッテリーの保護機能によるものであり故障ではありません。

- ・ バッテリーの温度が高温になると自動停止します。電源ボタンを押しても本機は停止したままです。
このときはバッテリーの使用を中断し、本機よりバッテリーを取りはずし、バッテリーを冷ますかまたは、充電してください。
- ・ バッテリーの容量が少なくなると自動停止します。電源ボタンを押しても本機は停止したままです。
このときは本機よりバッテリーを取りはずし、バッテリーを充電してください。



使い方

バッテリー（別販売品）を長持ちさせるには

- ・ 満充電したバッテリーを再度充電しないでください。
- ・ 充電は周囲温度10℃～40℃の範囲で行ってください。
- ・ 使用直後などの熱くなったバッテリーは、充電器に差し込んで冷却し充電することをおすすめします。
- ・ 長期間（6ヶ月以上）ご使用にならない場合、リチウムイオンバッテリーは充電してから保管することをおすすめします。

バッテリーの回収について

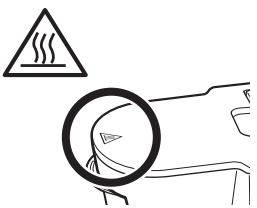
- ・ 使用済みバッテリーはリサイクルのため回収しております。お買い上げの販売店または当社営業所へご持参ください。



リチウムイオンバッテリーは
リサイクルへ

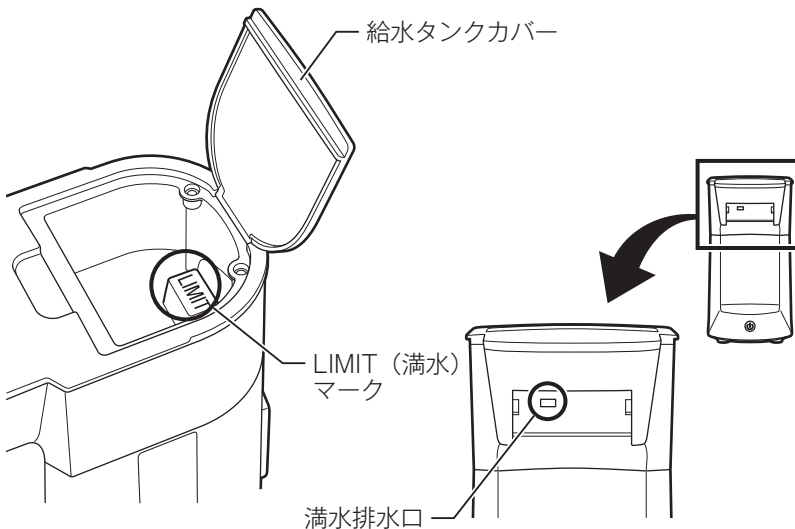
使い方

⚠ 注意

- ・ やけどを避けるために、ドリップ（コーヒーの抽出）中にフィルタホルダを取り出さないでください。
 - ・ 蒸気が出ている間は、△マークの付いた注湯部に触れないでください。
- 
- ・ 蒸気はフィルタホルダの下から出ます。
 - ・ ドリップ中に底板に触れないでください。
 - ・ ドリップ終了後は、5分以上時間をおいてからフィルタホルダを取りはずしてください。
 - ・ 続けてドリップを行う場合、ドリップ終了後5分以上時間をおいてから水を注いでください。間を置かず注水すると蒸気と熱湯が噴き出し、やけどをする恐れがあります。

ドリップの方法

1. 給水タンクカバーを開けて、水 150 ml を LIMIT（満水）マークの高さまで注ぎます。



注

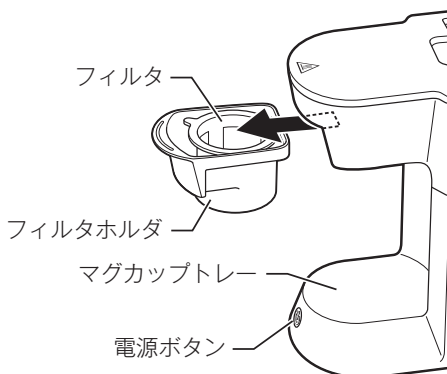
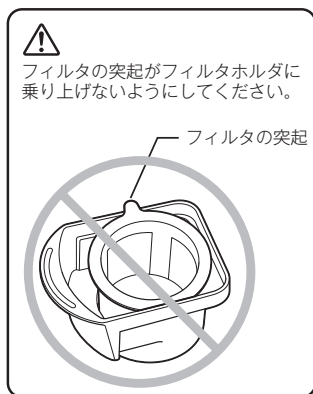
- ・ 水を入れ過ぎると満水排水口からあふれます。

使い方

2. フィルタをフィルタホルダごとに取り出します。
3. 挽いたコーヒー豆を計量スプーンですり切り一杯 (6.5 g)、フィルタに入れてから、フィルタホルダを本機にセットします。

注

- ・ フィルタは正しくフィルタホルダにセットしてください。フィルタを正しくセットしないと、フィルタホルダを正しくセットできません。
 - ・ コーヒー豆の量はお好みで調整してください。
4. マグカップをマグカップトレイに置きます。
 5. 電源ボタンを押します。



6. 電源ボタンが点灯しドリップが始まります。
7. ドリップが終わると本機の電源が自動的にオフになり電源ボタンが消灯します。

注

- ・ ドリップを停止するには電源ボタンを押します。本機の電源がオフになり電源ボタンが消灯します。
- ・ 1回のドリップにかかる時間は、交流電源で約3分、バッテリーで約7分です (ドリップの時間は水の量と温度などの条件により異なります)。ドリップに時間をかけるとより濃いコーヒーになります。

保守・点検について

本機のお手入れ

- ・適切な保守管理により本機を長く使用できます。使用した後に必ずお手入れすることで質の高いコーヒーの風味を楽しむことができます。
1. 電源コードまたはバッテリーホルダを本機から抜き、本機が冷えるのを待ってください。
 2. 水で湿らせた柔らかい布で本機の外装を拭いてください。
注) 研磨剤入りの洗剤や研磨パッドは使わないでください。
 3. フィルタホルダはフィルタごと本機から取り出し、温かい洗剤水で洗い、温水ですすぎます。
 4. 本機とすべての部品を完全に乾かします。
注) 糸くずが残るので給水タンク内は布で拭かないでください。

注

- ・ガソリン、ベンジン、シンナー、アルコールなどは変色、変形、ひび割れの原因となりますので使用しないでください。
- ・お手入れの際は、本機やバッテリーホルダ、電源コードを水または液体につけないでください。

保管について

- ・発火を避けるために、本機が完全に冷えてから保管してください。

ご修理の際は

- ・修理はご自分でなさらないで、必ずお買い上げの販売店、または当社営業所にお申し付けください。

CM500D-MJ-1215
IWT

株式会社 マキタ

愛知県安城市住吉町 3-11-8 〒446-8502
TEL.0566-98-1711 (代表)